



兵庫県立人と自然の博物館の先生によるコラムだよ!

日本一小さいクモ

8月号では、日本一大きいクモであるオオジョロウグモについて紹介しました。今回は、日本一小さいクモである「ユアギグモ」というクモを紹介したいと思います。ユアギグモは、体長が1mmに満たない非常に小さなクモです。小さくても立派に網を張って生活しています。地表に溜まった落葉の隙間などに、直径数センチの非常

に目の細かい円網を張り、餌を捉えます。体が小さく目立たないせいか、あまり報告例はありません。実は、2009年に新種として発表されたクモで、それ以降、日本各地で報告が出てきました。ただ、兵庫県では、まだ見つかっていません。気になる方は、ぜひ探してみてください。実物は、2025年1月13日まで、兵庫県立人と自然の博物館で展示しています。



兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 准教授
兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員(併任) 山崎健史

市民の皆さんからの相談をお待ちしています

次回の市政相談は **2月3日(月)**です。

*やむを得ず日程が変更される場合がありますので、事前にご確認ください。

【相談場所】 市役所6階 委員会室
【相談時間】 午後1時から午後4時まで
1件につき50分
【申し込み】 1月24日(金)までに、申込書を議会事務局まで

12月定例会は11月26日に開会しました

11/26(火)	10:00~	本会議
11/27(水)	10:00~	予算決算常任委員会 経営政策分科会
	終了後	経営政策常任委員会
11/28(木)	10:00~	予算決算常任委員会 福祉教育分科会
	終了後	福祉教育常任委員会
11/29(金)	10:00~	予算決算常任委員会 生活地域分科会
	終了後	生活地域常任委員会
12/ 3(火)	10:00~	予算決算常任委員会 討論・表決
12/11(水)	10:00~	本会議 一般質問
12/12(木)	10:00~	本会議 一般質問
12/13(金)	10:00~	本会議 一般質問(予備日)
12/20(金)	10:00~	本会議 委員会審査報告・質疑・討論・表決

*上記予定は、変更する場合があります。最新の情報はホームページでご確認ください。本会議は市役所6階議場で、常任委員会は6階委員会室で開催予定です。

議員と意見交換しませんか?

伺います さんだ未来トーク

★詳細はホームページをご覧ください。

三田市議会だより **こなぐ** 2024.12 vol.181

〒669-1595 三田市三輪2-1-1
TEL.079-559-5162 FAX.079-564-2992

✉ gikai_u@city.sanda.lg.jp

市議会に関することは何でもお気軽にご意見をお寄せください。

https://www.city.sanda.lg.jp/shisei_joho/gikai/index.html

表紙紹介 12月、三田市は「SANTA CITY」になります

サンタプロジェクトは、市民の皆さまの三田への愛着を高め、市外のファンを増やすことを目的に実施しており、今年で10回目を迎えます。市内を彩るイルミネーションのほか、さまざまなイベントを開催し、三田が「SANTA」一色になります。ぜひ、素敵なクリスマスの思い出を作りにしてみてくださいね。

三田市在住のイラストレーター、**宮館みえり**さんに描いていただきました。

あらゆる人と共に...



12月号
2024
vol.181

三田市議会だより



新体制\一般質問\9月定例会・10月臨時会の結果\議会ハラスメント根絶条例



☆☆ SNSで議会情報を発信中! ☆☆

You Tube
本会議の録画映像を公開しています。

Facebook
市議会の日程やお知らせなどを投稿しています。

広報委員会 (10月24日から新体制になりました)
[委員長] 肥後淳三 [副委員長] 水元サユミ
[委員] 坪之内幸司 福本愛 福田佳則 小山裕久
[議会事務局] 波田笙子 清瀬由莉

広報委員会 (昨年から1年間担当しました)
[委員長] 中田哲 [副委員長] 福田佳則
[委員] 福本愛 木村雅人 幸田安司 美藤和広
[議会事務局] 波田笙子 見田明彦



市議会新体制スタート

議長 ^{ふくだ ひであき} 福田 秀章 (創志会)

市内外を取り巻く環境は厳しいものと考えられ、重要課題も山積しておりますが、二元代表制において、市民の代表である市長と市議会議員がお互いに対等の立場で議論を重ねながら、市の発展のために尽力してまいります。

また、市民福祉の向上に全力で取り組み、より一層市民に開かれた議会、信頼される議会となるよう全力を尽くしてまいりますので、皆さまの温かいご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。

副議長 ^{ひご じゅんぞう} 肥後 淳三 (市民とともに)

日本全体が人口減少化に転じており、私たちの住む三田もご多分に漏れず減少に歯止めがかかりません。そのような中、この大きな課題を解決するためには、行政と市議会がまちの魅力を高めるための政策議論とともに積み重ね、より効果的な政策を打ち出す必要があります。

福田議長を支えると同時に、市議の皆様とコミュニケーションを交わしながら二元代表制の一翼を担う「議会」を一步前に進めてまいります。



会派名簿	創 志 会	幸田 安司、今北 義明、小杉 崇浩、坪之内 幸司、福田 秀章、假屋 浩司
	さんだの未来	佐貫 尚子、中田 哲、関口 正人、小山 裕久
	市民とともに	肥後 淳三、橋本 維文、山崎 丈、大西 憲司
	公 明 党	大西 雅子、福田 佳則、村手 秀樹
	日本共産党三田市議団	長尾 明憲、水元 サユミ、木村 雅人
	日本維新の会 三田	福本 愛、長谷川 良果

経営政策常任委員会

まちづくりの基本計画、広報広聴、財政、税、防災、防犯、行政委員会、上下水道、消防、市民病院等

◎委員長 小杉 崇浩 (創志会)	◎副委員長 中田 哲 (さんだの未来)	橋本 維文 (市民とともに)	村手 秀樹 (公明党)	小山 裕久 (さんだの未来)	長尾 明憲 (日本共産党三田市議団)	今北 義明 (創志会)
------------------------	---------------------------	-------------------	----------------	-------------------	-----------------------	----------------

福祉教育常任委員会

社会福祉事業、子育て支援、青少年の健全育成、健康増進、保健医療、人権推進、学校教育等

◎委員長 大西 雅子 (公明党)	◎副委員長 佐貫 尚子 (さんだの未来)	假屋 浩司 (創志会)	山崎 丈 (市民とともに)	福本 愛 (日本維新の会 三田)	水元 サユミ (日本共産党三田市議団)	肥後 淳三 (市民とともに)
------------------------	----------------------------	----------------	------------------	---------------------	------------------------	-------------------

生活地域常任委員会

市民との協働、コミュニティ、生涯学習、産業及び農林畜産業、生活環境、都市計画、公共交通、道路等

◎委員長 幸田 安司 (創志会)	◎副委員長 福田 佳則 (公明党)	長谷川 良果 (日本維新の会 三田)	大西 憲司 (市民とともに)	坪之内 幸司 (創志会)	木村 雅人 (日本共産党三田市議団)	関口 正人 (さんだの未来)
------------------------	-------------------------	-----------------------	-------------------	-----------------	-----------------------	-------------------

予算決算常任委員会

市の予算と決算の審査を行います。

- 【委員長】佐貫 尚子
- 【副委員長】福田 佳則
- 【委員】議長を除く全議員

議会改革推進会議

議会基本条例に基づく各種議会改革事項について協議します。

- 【委員長】中田 哲
- 【副委員長】大西 雅子
- 【委員】長谷川 良果、假屋 浩司、橋本 維文、長尾 明憲

議会運営委員会

議会の円滑な運営と議事の効率的な進行を図るために設置しています。

- 【委員長】今北 義明
- 【副委員長】長尾 明憲
- 【委員】山崎 丈、幸田 安司、大西 雅子、佐貫 尚子

広報委員会

市議会だより「つなぐ」の編集ほか議会広報のあり方について検討します。

- 【委員長】肥後 淳三
- 【副委員長】水元 サユミ
- 【委員】坪之内 幸司、福本 愛、福田 佳則、小山 裕久

※議長は、すべての委員会委員に就任しません。

質問しつもん

まちづくりや暮らしに関する制度、市が行う事業の執行状況や将来の方針について、議員が質問を通して市の見解を求め、主張・提言・指摘を行います。

9月定例会では、12人の議員が一般質問（個人質問）をしました。質問時間は、答弁の時間を含めて1人40分です。



三田市議会会議録

検索



三田市議会ユーチューブチャンネル

検索



※本会議の録画映像を公開しています。

井上 昭吾 議員

無会派



林 政徳 議員

日本維新の会 三田



歴史

三田の魅力ある歴史を生かす政策ビジョンは

議員 三田市は、福沢諭吉や松方正義といった日本史の中でもメジャー級の教育者や政治家とのつながりを豊富に持つ魅力的な歴史の宝庫といえる。市民の郷土への誇りにつながる三田の歴史を生かすための政策ビジョンを伺う。

新たな仕掛けでさらなるPRをしていく

市 三田の歴史に関心を寄せる作家の玉岡かおる氏から著作にまとめる意向を伺っており、市も協力して三田の歴史文化をPRしていくとともに、三田と歴史的につながりのある地域との交流の動機づけを図るような新たな仕掛けを行う。(田村市長)

他の質問 ●生成AIの活用について 他2件

福祉

認知症への取組に代替療法の活用を

議員 2060年には約645万人の方が認知症となり、軽度認知障害の方も632万人に達するという調査予想がある。市の認知症関連事業に音楽やネイルを楽しむ代替療法を取り入れてはどうか。

認知症カフェなどに代替療法の取り入れを検討

市 認知症の治療は薬物療法とともに非薬物療法を取り入れることで、精神的な安定等が図れ、生活の質の向上が期待できる。今後、認知症カフェなどにおいて、音楽療法などの代替療法がさらに広がるよう取り組んでいく。

(田村市長)

他の質問 ●三田市における急性期医療の確保について

長尾 明憲 議員

日本共産党三田市議団



檜田 充 議員

市民の会



市長公務

なぜ市長一人が公務と判断したのか

議員 公用車不正使用の問題で、訪問先の市民が支援者であること、公務でないことについて公開質問状が提出された。一部公務があったとしても、同行した職員、副市長が公務ではないと認識しながら、なぜ市長一人が公務と判断したのか。

一連の関連の中で公務と判断した

市 私が公務と判断した。副市長と全く違った判断をしたわけではなく、公務であるという一環もあった。(田村市長)

結果として公務外の部分もあったが、後に市民病院へ打ち合わせに行く公務があったことから、一連の関連の中で公務として整理をした。(西田副市長)

他の質問 ●子ども医療費の無料化について

関口 正人 議員

無会派



福田 佳則 議員

公明党



地域活性

エディブルパークの取組の可能性は

議員 都市の空きスペースに農園を作りコミュニティを活性化する「エディブルパーク」の考え方が世界的に関心を集めている。市でもニュータウン内の公園や学校跡地などで実証実験を行い推進すべきと考えるが、市の見解を伺う。

他市のエディブルパークの取組を研究していく

市 公園や公共用地の将来のあり方の検討にあたっては、まちの成熟とともに多様化するニーズや地域住民などの声に加え、提案のあった新しい概念も積極的に取り入れながら、他市でのエディブルパークの取組を研究していきたい。(田村市長)

他の質問 ●市長の市政運営について 他2件

教育環境

学校トイレにおける便器の洋式化の進捗は

議員 学校現場の声として長年にわたりトイレの洋式化を要望してきたが、現在の進捗状況と今後の取組は。

目標値を掲げ、計画的に取り組んでいる

市 総合計画において、校舎の洋式便器1基あたりの児童生徒数を女子10人、男子20人と目標値を掲げ取り組んでいる。進捗状況は、令和6年3月末時点で、小学校は女子が11.4人、男子が16.4人、中学校は女子が10.5人、男子が18.5人と全体で見ると概ね目標値に達している状況であるが、目標値に達していない学校もあることから、今後も計画的に取り組むを進める。(浅野学校教育部長)

他の質問 ●「こどもを核としたまちづくり」について 他2件

公民連携

公民連携推進事業の進捗および今後の展望は

議員 公民連携プロデューサーの設置から4か月が経過した。同プロデューサーを筆頭に、市の課題をどう捉え、今後どのようなビジョンを持ち、取組を進めようとしているのか。

スピーディーな課題解決に向け取り組む

市 現在、市民の満足度と幸福度の向上を優先し、スピーディーに課題解決に向けた取組を進めている。今後は、産官学の連携・協力を拡大し、地域経済の活性化に資する取組に重点を置き、市の課題解決を進め、公民連携先進都市の歩みを進める。(田村市長)

他の質問 ●地域活動支援への取組について 他1件



厚地 弘行 議員
新政みらい



まちづくり テーマパークを創ろう！

議員 30年前、三田はまちの発展に夢があった。テーマパークは子どもたちにも夢がある。淡路島のニジゲンノモリ、埼玉県飯能市のムーミンバレーパーク、東京都多摩市のサンリオピューロランドなど、小さなまちでもやる気があればできる。市内には土地があり、民間の力を生かせば可能と考えるが、市の見解を伺う。

観光ビジネスの一つのピースとしてある

市 テーマパークも色々あるが、基本的な概念は議員と同じだと考える。シティホテル、観光ビジネスを呼び込むためのホテルと連動して、経済発展にテーマパーク構想はあり得る。(田村市長)

他の質問 ●子育て無償化政策は人口増と少子化対策になるか 他2件

今北 義明 議員
盟政会



市政 田村市長就任1年間の成果と報酬カットの考えは

議員 令和5年の市長選挙において、選挙公報には「市民本位の三田市政に！」をテーマに重要公約として6項目を挙げられている。その成果と自己評価を伺う。また、財政難の解決策として、市長の報酬をカットする考えはないのか伺う。

市長の報酬カットは考えていない

市 市民の命を守る最善策として、病院再編により「地域医療の充実化」に道筋をつけることができた。その他公約については、「元気な三田」の実現に向け、事業の予算化を進めている。財政難解決の一端としての報酬カットは考えてない。(田村市長)

他の質問 ●都市計画道路の見直しについて 他1件

松岡 信生 議員
公明党



子育て施策 市長公約とこどもを核としたまちづくり施策の優先順位は

議員 令和6年9月定例会の市長提案理由説明では、合計特殊出生率に言及し、「こどもを核としたまちづくり」の推進が発表された。子ども医療費や学校給食の無料化を前提としているが、合計特殊出生率の意義に見合う、多くの子どもを産み育てられる環境創出、施策展開の優先順位を伺う。

結婚や学齢期までの子ども対象の支援策も検討

市 子ども医療費や学校給食無料化は少子化対策の有力な手法と社会的に認識されつつあるが、結婚を考えている人や学齢期までの子どもへの支援策も含め幅広い対策を検討し、多くの子どもを産み育てられる環境を創出していきたい。(田村市長)

他の質問 ●将来にわたる健全財政の堅持について 他2件

美藤 和広 議員
市民の会



市税 都市計画税の使途と市民意識にギャップがある

議員 都市計画税を納めているが、植栽や道路・橋梁の不備は解消されないとの声がある。維持管理費に適用できないことや使途の情報提供を行い、全体的な運用で維持管理にも財源を使用すべきでは。

使途をより分かりやすく周知していく

市 都市計画税は、都市計画事業や土地地区画整理事業に充当される目的税で、使途の制限があり、駅前再開発・下水道・ごみ処理施設等に活用している。維持管理は、他の市税等で住民ニーズ等の優先度を考慮し、適切な実施に努めている。決算資料などで使途を周知しているが、今後は市民に分かりやすく周知していく。(櫻井財務部長)

他の質問 ●地域医療の充実について 他3件

大西 雅子 議員
公明党



福祉 公民連携による生活困窮者と食品ロスへの対策を

議員 さまざまな事情で生活に困難を抱える家庭が増えているにもかかわらず、日本全国の食品ロスは令和4年度で472万トンである。資源の有効活用や環境負荷に配慮し、公民連携による生活困窮者と食品ロスへの対策が必要では。

食料品等の支援として必要な方策を検討する

市 現時点では、食料品等を配分する仕組みの構築に必要な安定的な運営基盤の整備ができていない。まずは、市内各地域の子ども食堂の課題解決を、公民連携の枠組みも活用し、検討したい。関係部署や機関・団体等と連携し、生活困窮者等の支援と自立に向けた施策の充実を努める。(田村市長)

他の質問 ●こどもを核としたまちづくりについて 他1件

北本 節代 議員
新政みらい



交通 コミュニティバス導入とスクールバスの対応は

議員 路線バス休止は、高齢者や子どもたちが大きな影響を受ける。安心して通学できる環境を守るための代替交通の検討を急ぎ進める必要があるが、具体的な計画は。

サービスの対象者や地域のニーズに対応する

市 コミュニティバスは利用者のニーズに合わせ、路線バスが通行しないルートを設定するなど工夫したサービスの提供を期待できるが、運行経費増大等の課題もある。通学手段の確保には、スクールバスに子どもと地域住民が混乗するなどの方法も考えられる。地域の実情に応じた持続可能な地域内交通の導入に向け、検討を進める。(田村市長)

他の質問 ●農作業に伴う野外焼却について 他4件



令和6年

9月定例会の結果

8月20日～9月13日（会期：25日間）

市長提出議案 13件
議員提出議案 1件
請願 1件



詳しくはこちら

全議員が賛成した議案

- 決算認定** 令和5年度水道事業会計決算認定、令和5年度下水道事業会計決算認定 認定案件2件
- 予算** 一般会計補正予算（第3号）、介護保険事業特別会計補正予算（第1号） 予算案件3件
- 条例** 市附属機関の設置に関する条例の一部改正、印鑑条例の一部改正 など条例案件3件
- その他** 駒ヶ谷運動公園体育館空調設備等改修工事請負契約の締結 など事件決議3件
議会ハラスメント根絶条例の制定 議員提出議案1件

議会内容等の詳細は、三田市議会ホームページの「審議予定・結果」をご覧ください。

賛否が分かれた議案・請願（森本政直議員は、議長のため表決に加わりません）

賛成：○ 反対：×

議員名	盟政会			新政みらい			公明党			日本共産党三田市議団			市民の会		日本維新の会三田		無会派		結果		
	福田秀章	幸田安司	小杉崇浩	今北義明	厚地弘行	北本節代	佐貫尚子	中田哲	松岡信生	大西雅子	福田佳則	長尾明憲	水元サユミ	木村雅人	榎田充	美藤和広	肥後淳三	林政徳		福本愛	関口正人
決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	賛成18人 反対3人 認定
条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	賛成18人 反対3人 可決
請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	継続審査に 賛成18人 反対3人

賛否が分かれた議案・請願



認定第1号 令和5年度市民病院事業会計決算認定について

内容 令和5年度市民病院事業会計決算を認定するもの

認定
賛成18名
反対3名

反対討論

市民病院の再編統合に反対であり、令和5年度には、市長の公約撤回などがあつたが、新統合病院整備候補地基礎調査業務が進められた。市民合意が得られない中で統合に関する事業を進めてきたことは認められないため、反対。
（日本共産党三田市議団 長尾明憲）

賛成討論

新統合病院整備候補地基礎調査に係る委託業務は、市民の命を守り抜くための再編統合を進める上で必要不可欠である。救急医療を中心とする急性期医療は何としても将来にわたって堅持し、充実させなければならないため、賛成。
（新政みらい 佐貫尚子）



議案第74号 市立認定こども園条例の一部を改正する条例の制定について

内容 市立認定こども園ありまふじ幼稚園の開設にあたり、条例及び関係条例を一部改正するもの

可決
賛成18名
反対3名

反対討論

一連の幼稚園再編は、再編計画を策定していく過程で十分な合意形成ができておらず、再編統合ありきで進められていたと言わざるを得ない。幼稚園は、子育て世代や若者世代にとって欠かせない重要な施設であり、3つの幼稚園の閉園が農村地域の再生・活性化に逆行し、地域の衰退を引き起こす懸念があるため、反対。
（日本共産党三田市議団 水元サユミ）

賛成討論

認定こども園みつば幼稚園では、子どもの興味や関心に寄り添い、主体性を大切に教育・保育、施設設備の充実が図られている。幼稚園再編により認定こども園を設置し、幼児教育と保育サービスの充実に努めることで、若者世代が農村地域に定着できる環境づくりや持続可能な地域づくりが進んでいくと考えるため、賛成。
（盟政会 幸田安司）



請願第19号 学校給食の無償化を実現してください（閉会中の継続審査について）

内容 （請願者）新日本婦人の会三田支部 支部長 松原 慶子氏
（請願の趣旨）負担の増大している子育て世帯への支援として、小・中学校の給食無償化の実現を求めるもの

継続審査に
賛成18名
反対3名

委員会審査報告より（審議経過）

自由討議において、継続的な事業とする必要があるが、財政的な負担が非常に大きく、将来を見据えた上で進めていくべきとの意見や、財政構造改善プログラムの成果を検証し、永続的な財源が確保できるか否かで判断すべきとの意見、また、給食費無償化に取り組む自治体が増えており、一歩踏み出す時期にきているなどの意見があつた。自由討議終了後、十分な財政基盤がある上での施策で、議会として市の動向を監視し、経緯を見守るべきであり、請願者の願いは十分理解するが、現段階では継続審査としたい旨の動議が出された。

採決において、賛成多数をもって継続審査とすべきものと決した。（福祉教育常任委員会委員長 福田秀章）

反対討論（継続審査に反対）

令和6年8月22日の福祉教育常任委員会における動議により継続審査となったが、早急に進めるべき子育て支援策であるとする。また、継続審査といっても、令和6年9月29日には市議会議員選挙を控えており、結果として審議未了となる。これは、実質廃案といえるものであり、令和6年9月定例会で表決すべきと考えるため、継続審査に反対。
（日本共産党三田市議団 木村雅人）

令和6年

10月臨時会の結果

10月23日、24日（会期：2日間）

市長提出議案 8件



詳しくはこちら

全議員が賛成した議案

予算 令和6年度一般会計補正予算（第5号） 予算案件1件

全議員が継続審査とした議案

決算認定 令和5年度一般会計歳入歳出決算認定、令和5年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定 など認定案件6件

賛否が分かれた議案（福田秀章議員は、議長のため表決に加わりません）

賛成：○ 反対：×

議員名	創志会			さんだの未来			市民とともに			公明党		日本共産党 三田市議団		日本維新の会三田		結果						
	幸田安司	今北義明	小杉崇浩	坪之内幸司	假屋浩司	佐貫尚子	中田哲	関口正人	小山裕久	肥後淳三	橋本維文	山崎文	大西憲司	大西雅子	福田佳則		村手秀樹	長尾明憲	水元サユミ	木村雅人	福本愛	長谷川良果
件名	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	賛成18人 反対3人 可決
条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	



議案第81号 国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

内容 被保険者証発行終了に伴う手続等の事務変更により条例を一部改正するもの

可決
賛成18名
反対3名

反対討論

国が決めたマイナ保険証を基本とする仕組みへの切り替えは、任意であるはずのマイナンバーカードの取得を強制するような進め方で横暴であると言わざるを得ない。

また、現行の被保険者証で十分対応できているものを廃止し、新たな資格確認書にする理由がない。資格確認書は当面、申請なしでも交付されるが、後々申請が必要となり、申請を忘れた場合に保険適用が受けられなくなる恐れや、施設入所者等の申請が難しいなどの問題も起こりうる。多額の追加コストがかかることも明らかである。

被保険者証の廃止、すなわち新たな資格確認書の発行は進めるべきでなく、被保険者証の存続こそ求めるべきであり、反対。（日本共産党三田市議団 木村雅人）

賛成討論

マイナ保険証への移行により、本人同意のもと検診や服薬の情報が共有され、より安心して適切な医療が受けられる。さらに、診療報酬改定による医療費負担の軽減、退職や引っ越しによる手続きの簡略化、過誤請求の減少等による事務負担軽減など多くのメリットがある。

また、国ではマイナ保険証の取得が困難な人に資格確認書を交付することとしており、市でも全ての人が必要な医療の受診ができるよう円滑な制度移行に向け、丁寧な取組がされる。

マイナ保険証への移行に対応するための規定改正であり、今後、医療DXを構築し、誰もが安心して適切な医療を受けられる環境整備を進める上で必要不可欠であるため、賛成。（創志会 小杉崇浩）

説明



医療DX：医療分野においてデジタル技術を活用することで効率や質を上昇させること

三田市議会ハラスメント根絶条例を制定しました

令和6年9月定例会第1日（8月20日）に、「三田市議会ハラスメント根絶条例」が全会一致で可決され、同日施行となりました。条例の前文では、ハラスメントの根絶と未然防止を決意する旨を明らかにし、本文では、条例の目的やハラスメントの定義から始まり、議長および議員の責務、行動指針の策定、相談窓口の設置などについて規定しています。

POINT 三田市議会ハラスメント根絶条例にはこんなことが規定されています

- ✓ 条例の目的
議員及び職員等によるハラスメントを防止し、根絶するための処置を講じ、市民から信頼され続ける議会の実現を目的とするもの
- ✓ ハラスメントの定義
パワーハラスメント、セクシャルハラスメント、妊娠・出産・育児または介護に関するハラスメント、SOGIハラスメント他
- ✓ 適用範囲
議員から職員等、議員から議員、職員等から議員に対するハラスメント
- ✓ 議員の責務
ハラスメントの根絶、説明責任、報告義務など
- ✓ 議長の責務
ハラスメントの根絶、解決措置、相談体制の整備など
- ✓ 議員への研修等の実施
- ✓ 行動指針の策定および周知徹底
- ✓ 議長への相談・申し立て、議会事務局への窓口設置 など



全文はこちらをご覧ください。

説明



SOGIハラスメント：性的指向や性自認に関わる差別や嫌がらせ

三田市議会のハラスメント根絶に向けた行動指針

- 第1 三田市議会は、ハラスメントを許しません。
～市民の代表として常に高い倫理観を持ち、ハラスメントの根絶に努めます～
- 第2 三田市議会は、「三田市議会ハラスメント根絶条例」を遵守し、迅速に対処します。
～新たな被害者を生まないために、ハラスメント根絶の取組を徹底します～
- 第3 三田市議会は、ハラスメントに関する議員の知識や対応力を向上させます。
～継続的な研鑽と、プライバシーの保護の徹底に努めます～

詳細はこちらをご覧ください。



相談窓口を設置

議会事務局内に議員・職員向けの相談窓口を設置し、ハラスメントに関する相談や申し立て等に対応できるようになりました。



ハラスメント行為が起きたら…

相談窓口において被害の申し立てを受け付け、受理されると、議長が必要に応じ第三者委員会としてハラスメント審査会を設置し、調査を委任します。

審査会でハラスメントが認定されると、議員の氏名やハラスメントの概要を公表するとともに、必要な措置についての協議・決定を行います。

